

ごあいさつ

平素より近畿大学工学部にご支援・ご協力賜り誠に有難うございます。お陰をもちまして、本年工学部創設50周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、近畿大学工学部では、併設しております工業技術研究所を中心に地域産業のイノベーション創出に寄与すべく産学官連携を推進しております。平成14年度には「工学部産学官連携推進協会」を設立して地域企業との連携を深めるため、企業との共同研究、社会人リカレント講座の開講などを積極的に実施してきております。昨年度は、工業技術研究所の組織を大幅に変更して、地域との連携を強化するため「社会連携センター」を設置するとともに、分野横断的な研究者チームによる3つの研究センターを立ち上げました。

本年は工学部創設50周年を契機に、大学の研究シーズに基づく戦略的な研究とともに地域連携に関する研究を拡充することとしております。具体的には、「地域連携による次世代自動車技術の研究」の研究拠点を整備し、地域をあげた連携とご協力のもとに戦略的研究に取り組んでまいります。

今回の研究公開フォーラムでは、「工学部産学官連携推進協会」との共催により特別講演会として、独立行政法人科学技術振興機構・研究開発戦略センター長 吉川弘之 氏をお迎えして「新しい産学連携によるイノベーション」と題する講演をお願いしております。また、本年度採択されました文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の紹介や協会会員企業の技術発表を予定しております。なお、今回は「インテリクチャルカフェ広島」として併催しております。この研究公開フォーラムが、ご参加頂きました皆様にとりまして有意義な場となることを念願しております。



平成21年10月
近畿大学工学部長
近畿大学工業技術研究所長
京極 秀樹

研究公開フォーラム

～戦略的研究から地域連携への展開に向けて～

2009



Access 広島電鉄「紙屋町」から徒歩3分、又はアストラムライン「県庁前」駅に直結。
JR広島駅から路線バスで10分「広島バスセンター」下車すぐ、又はJR広島駅から車で10分。

近畿大学工学部
近畿大学工業技術研究所
近畿大学大学院システム工学研究科
近畿大学工学部産学官連携推進協会

〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL (082) 434-7000 (代表) FAX (082) 434-7020
※お電話またはFAXを頂く際は、市外局番が同一の地域でも「082」からおかけください。
<http://www.hiro.kindai.ac.jp/> E-mail: riit@hiro.kindai.ac.jp

10月23日(金)
13:00~17:30 **入場無料**
(交流会 17:40~19:10 (会費制))

基町クレド 11F (NTTクレドホール)
広島市中区基町6-78 TEL 082-502-3430

併催 **インテリクチャルカフェ広島**

[主 催] 近畿大学工学部、近畿大学工業技術研究所、近畿大学大学院システム工学研究科、近畿大学工学部産学官連携推進協会
[共 催] 中国地域産学官コラボレーション会議
[後 援] 中国経済産業局、広島県、広島市、東広島市、呉市、福山市、中国経済連合会、広島商工会議所、東広島商工会議所、呉商工会議所、福山商工会議所、(財)ちゅうごく産業創造センター、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(財)ひろしま産業振興機構、(財)広島市産業振興センター、(財)くれ産業振興センター

プログラム

13:00 **主催者挨拶** (13:00~13:10)

工学部長
産学官連携推進協力会長

13:10 **来賓挨拶** (13:10~13:20)

中国経済産業局長

13:20 **特別講演** (13:20~14:20)

「新しい産学連携によるイノベーション」

(独) 科学技術振興機構
研究開発戦略センター長 **吉川 弘之氏**

14:20

15:30 **研究報告** (15:30~16:00)

「近畿大学工学部戦略的研究の紹介」

工学部長・工業技術研究所長 **京極 秀樹**

16:00 **技術発表会** (16:00~17:00)

1. 「広島地区 ITS公道実証実験の紹介」

マツダ(株) 技術研究所 主幹研究員 **大西 晃二氏**

2. 「光触媒技術の市販化」

日本メンテナスエンジニアリング(株) 企画部 **三好 正大氏**

17:40 **交流会** (会費制) (17:40~19:10)

研究成果パネル展示 (14:20~17:30)

- 工学部教員の研究シーズ、共同研究、受託研究成果
- 産学官連携推進協力会会員企業等の製品紹介、研究成果紹介
- 工学部教員の発明による出願特許紹介

技術相談コーナー (14:20~17:30)

パネル展示

	パネルNo.	発表者	展示テーマ
生物・化学系	A-1	伊藤 一明	X線造影剤中ヨウ素の回収についての基礎的検討
	A-2	芦田 利文	メカノケミカル反応を利用した材料合成プロセス
	A-3	野村 正人	柿皮の有効利用- 美白化粧品ならびにバイオ燃料へ -
	A-4	野村 正人	ブラジル産ヤシ科植物であるアサイー種子中の脂肪酸分析と資源循環サイクル
	A-5	白石 浩平、杉山 一男、原田 大 ^{M1} 、相良 宗作 ^{M2} 、西川ゴム工業株式会社(矢野 徹、阪口 敬子、橋本 邦彦)	自動車内装部品としての天然ゴム・ポリ乳酸複合バイオプラスチックの開発
	A-6	白石 浩平、杉山 一男、山崎 啓太 ^{M1} 、トーヨーエテック㈱(新田 祐樹、岡本 圭司、中谷 達行)	金属医用材料の生体適合性の改善—DLCコーティング表面への生体適合性ポリマーのグラフト重合—
	A-7	白石 浩平、杉山 一男、小林 良太 ^{M1} 、トーヨーエテック㈱(岡本 圭司、中谷 達行)	細胞診断・セパレータおよび医薬食品の細胞評価用マイクロアレイの開発
	A-8	山田 康枝、立溝 博也 ^{M2}	医薬組成物および保健機能食品の添加物
	A-9	渡邊 義之	未利用生物資源の利用に関する研究
	機械系	B-1	西村 公伸、伊奈 龍慶(KRYNA&PLUTON㈱)
B-2		京極 秀樹、株式会社今西製作所(今西 寛文)、株式会社キャストム(中山 英樹)、広島県立総合技術研究所(小池 明)、株式会社アスペクト(萩原 正)、(財)ひろしま産業振興機構	経済産業省地域新生コンソーシアム研究開発事業 「自動車用軽量化部材のラピッドプロセス技術の実用化研究開発」
B-3		角田 勝	可視化技術による流れの解明と産業機器への応用
B-4		旗手 稔、信木 関、株式会社キャストム(遠藤 栄治、中山 英樹)	精密鋳造法による高合金工具鋼の開発
B-5		田端 道彦	ガス・液体燃料の混合と燃焼に関する研究
B-6		玉木 伸茂、井原 辰彦	酸化チタン光触媒による燃焼効率の改善
B-7		樹野 淳也	環境保全型農業を実践するためのロボット・作業機械の開発
B-8		上森 武	自動車ボディー多段成形加工シミュレータ高精度化のための材料構成式開発とその応用
B-9		信木 関、旗手 稔、久慈 俊郎(東海大学)	Mg系水素吸蔵合金の創製とその特性
B-10		児島 忠倫、楊 念儒(近畿大学研究員)	超音速噴流を応用した工業用ノズルの研究開発
B-11		奥本 泰久	足関節リハビリ機器の生体計測
情報系	C-1	竹原 伸	車載システムのモデルベース開発適用に関する研究
	C-2	黄 健	ハプティックインタフェースによる力感覚メカニズムの解明
	C-3	村瀬 晃平	触感装置を利用した軟組織構造判別システム
	C-4	中村 一美	シンボルマークにおける印象評価に関する研究
	C-5	中島 弘之、馬場 雅也 ^{M1}	離散時間型複素ニューラルネットワークによる交通信号機制御
	C-6	藤本 暢宏	照明光通信の研究
	C-7	出口 幸子	音楽即興演奏システムにおける旋律パターンの学習に関する研究
	C-8	松富 達夫、木村 有寿、大谷 崇	組合せ最適化設計における進化計算の局所探索法
	C-9	谷崎 隆士	スケジューリング手法の製造現場への応用
	C-10	長谷川 誠	距離空間と3次元ラドン変換を用いたサーフェースモデルのレジストレーションに関する研究
	C-11	田中 一基	映像フィードバックを利用するバーチャルスポーツ
	C-12	木村 有寿、大谷 崇、松富 達夫	高効率混合品種ラインの設計法
	C-13	片岡 隆之	製造現場におけるスキル対応型要員計画スケジューラの開発
建築・環境系	D-1	難波 義郎	地震時火災に関する研究
	D-2	高井 広行	地方都市の活性化を目指したまちづくり
	D-3	在永 末徳	外断熱型壁式ハイブリッド住宅の開発
	D-4	森村 毅	牡蠣殻活用による住宅及び鉄筋コンクリート建造物の耐震化技術の開発
	D-5	大田 和彦	カルシウムイオン水を用いた高強度コンクリートの開発
	D-6	崔 軍	建物断熱改修の省エネルギー効果に関する簡易評価システムの開発
	D-7	市川 尚紀	地熱と雨水による床冷房の実験
会員企業	E-1	MHIソリューションテクノロジーズ㈱	電動式携帯型振動台"ゆさぶ郎"
	E-2	柿原工業㈱	6価クロムフリー樹脂めっき技術
	E-3	カワソーテクセル㈱	メタライズ・プレージング技術
	E-4	㈱ケミカル山本	中性電解法によるステンレス製品耐塩素応力腐食割れ防止法("ピカ素スーパーNEO#"シリーズ)
	E-5	㈱ディジフュージョン・ジャパン	Bluetooth技術を利用したPCセキュリティソフト開発
	E-6	㈱日本クライメイトシステムズ	「小型軽量 空調HVAC」「抗菌と除菌イオンを組み込んだ清潔、爽やか空調技術」
	E-7	日本メンテナスエンジニアリング㈱	光触媒技術の市販化
	E-8	マツダ㈱技術研究所	広島地区 ITS公道実証実験の紹介
関係機関	E-9	(独)産学技術総合研究所 中国センター	木質バイオマスからの液体燃料製造技術
	E-10	(財)ひろしま産業振興機構	カーエレクトロニクス推進センターの紹介
	E-11	(財)広島市産業振興センター	「ひろしまビジネスサポート事例」の紹介
	E-12	東広島市新産業創造センター	コラボスクエア(東広島市新産業創造センター)
特許	F	工学部教員の発明による出願特許紹介	

注) M1:近畿大学大学院システム工学研究科博士前期課程1年 M2:近畿大学大学院システム工学研究科博士前期課程2年

特別講演 13:20~14:20

「新しい産学連携によるイノベーション」

よしかわ ひろゆき	<略歴>	
吉川 弘之氏	1956年 3月 東京大学工学部精密工学科 卒業	1991年 3月 東京大学学長特別補佐
	4月 三菱造船入社	1993年 4月 東京大学長
独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター長	10月 株式会社科学研究所(現 理化学研究所)入所	1997年 4月 文部省学術国際局学術顧問
	1966年 4月 東京大学工学部助教授	7月 日本学術会議会長
独立行政法人産業技術総合研究所 最高顧問	1967年 4月 英国バーミンガム大学客員研究員	9月 日本学術振興会会長
	1971年 6月 東京大学学長補佐	1998年 4月 放送大学長
	1977年 4月 ノルウェー国立工科大学客員教授	1999年 9月 国際科学会議会長
	1978年 7月 東京大学工学部教授	2001年 4月 独立行政法人産業技術総合研究所理事長
	1987年 4月 東京大学評議員	2009年 4月 独立行政法人科学技術振興機構研究開発
	1989年 4月 東京大学工学部長	戦略センター長 就任